

第 **53** 期

年次報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで



おにぎりQ が新しくなりました!

中期ビジョン

【経営理念】

当社グループが めざす姿

『おいしさと楽しさ』をモットーに、
消費者ニーズに応える商品づくりを通じ、
健康で豊かな食文化の向上に貢献し、
顧客、取引先、社会に信頼され、
そして従業員、株主、企業それぞれが
充足することをめざしてまいります。

社会の活力を支える 企業として

私たちシノプフーズは、
お客様の視点に立った「安全・安心な商品」を
お届けすることももちろん、コンプライアンス、
CSR(企業の社会的責任・社会からの信頼)に
もとづいた企業活動を実践し、
さらなる成長のための行動力を磨き、
変化に対して積極的に
挑戦してまいります。

中期経営計画 における

基本

戦略

当社グループでは、経営理念に則した『良品づくり』の
さらなるレベルアップを実現するために
4つの基本戦略をもとに取り組んでまいります。

販売戦略

良品をお届けするために必要な
「製造力」「開発力」「営業力」を磨き、
安全・安心で美味しい商品を
より多くのお客様に安定的に
提供する体制を強化してまいります。

人財戦略

多様な働き方や働き手に対応した
職場環境の整備に取り組み、
健康で働きやすく能力を発揮し続けられる
職場づくりと、研修制度の充実など
スキルの向上を進めてまいります。

コスト戦略

良品を継続的にお届けするために、
原材料面、労務管理面、販売管理面を
中心に現場レベルでの緻密な管理を行い、
中長期的な視点でのコスト削減に
取り組んでまいります。

環境戦略

フードロス削減、石油製プラスチックの
代替品やエコ素材を使用した
包装資材の積極利用を推進する
とともに、廃棄物総量の削減と
ゴミの再資源化に取り組んでまいります。

中期経営計画における 数値目標

中期経営計画の数値目標として、2025年3月
期において連結売上高550億円、経常利益率
3.3%をめざしてまいります。

○数値目標 [第55期(2025年3月期)]

連結売上高	550億円
経常利益率	3.3%

2022年3月期の期首から「収益認識に関する会計基準」
(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用し、一
部の取引の収益を純額で認識しており、適用後の数値目標
へ修正しております。



代表取締役社長
松本崇志

さらなるレベルアップの実現へ向け

シノプフーズは、『おいしさと楽しさ』をモットーに、設立以来50年以上、「食」にかかわる企業の使命として、お客様のニーズや社会のスタイルに合わせた商品を提供してまいりました。

第53期は中期経営計画【「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画】の3年目であり、商品づくりを通じ、健康で豊かな食文化の向上に貢献し、顧客、取引先、社会に信頼され、そして従業員、株主、企業それぞれが充足することをめざし、取り組んでまいりました。

今後も「安全・安心な商品」をお届けすることはもちろん、コンプライアンス、CSR(企業の社会的責任・社会からの信頼)にもとづいた企業活動を実践するほか、環境負荷軽減や持続可能な社会づくりに貢献し、さらなる成長のための行動力を磨き、変化に対して積極的に挑戦してまいります。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
510億4千7百万円	18億7千6百万円	19億4百万円	1億3百万円
前期比4.9%増	前期比23.0%増	前期比23.7%増	前期比90.5%減

営業の概況

当社グループは、「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画をテーマとした中期経営計画(2021年3月期～2025年3月期)を策定し、4つの基本戦略、「販売戦略」、「コスト戦略」、「人材戦略」、「環境戦略」に基づき目標達成に向け取り組んでおります。

販売面では、今後ますます需要が見込まれる冷凍弁当や冷凍惣菜、冷凍おせちの製造など冷凍事業の拡大を図りました。2023年2月に幕張メッセで行われた「スーパーマーケット・トレードショー2023」へ出展し、冷凍弁当をはじめとする冷凍事業の商品や新商品である「具っしり太巻」の紹介など、新規カテゴリーの商談や新規取引先の開拓、これまでとは異なる業態のお客様さとの繋がりなど、継続して販売力の強化に取り組ましました。

開発面では「家庭の味」にこだわり、製造開始からお客様のもとに届くまでの鮮度を高めることにより、商品価値の向上による他社との差別化を図り、また、原材料の高騰を見据えた商品規格の見直しや新商品の提案を積極的に行いました。

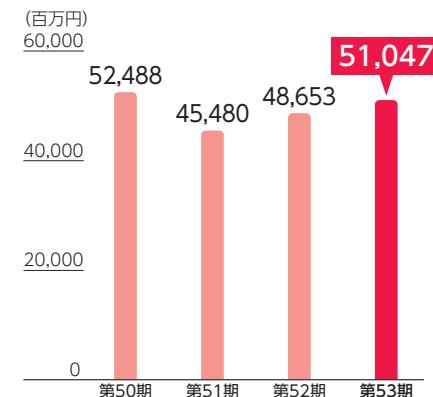
生産面では、政府のガイドラインに基づいた新型コロナウイルス感染症防止対策に取り組むとともに、従来からの衛生管理に加え、生産管理部や

購買部の工場巡回を通じ、食に携わる企業としての責任を全うするため、「良品づくり」に向けた課題の解決や業務の改善に取り組んでおります。また大阪工場では炊飯設備を入替え、舎利の美味しさや品質向上に努めました。コスト面では、人員不足による労働コストの増加や、原材料やエネルギー価格の高騰等が続いておりますが、これらを吸収するべく主要食材の調達方法の見直し、調理加工品アイテム数の削減や機械化による品質及び生産性の向上、各工場間での横断的な製造経費の見直しに取り組みました。

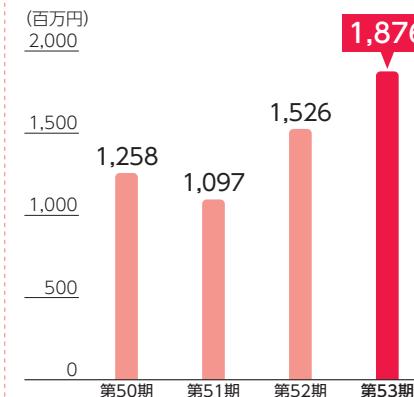
人材面では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための社内ルールを周知徹底し、従業員の健康管理に努めつつ、WEBを活用した職種別の会議体や勉強会を継続し、スキルの向上や組織力の強化と均一化に取り組ましました。

環境面では、プラスチック使用量を削減するため、軽量化した発泡素材容器への切換えを進め、また廃棄物を削減するため、関西工場、京滋工場、四国工場に生ごみ処理機を設置し、さらに四国工場に太陽光発電設備を設置するなど、脱炭素社会の実現に向け、省エネ・再エネの推進と環境負荷の軽減に取り組ましました。

売上高



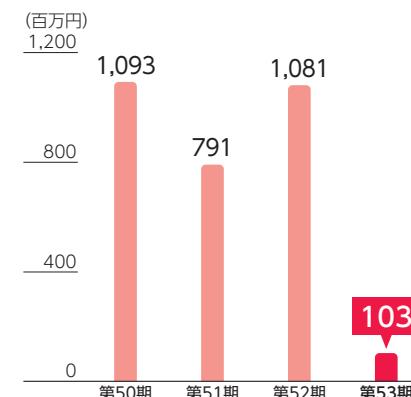
営業利益



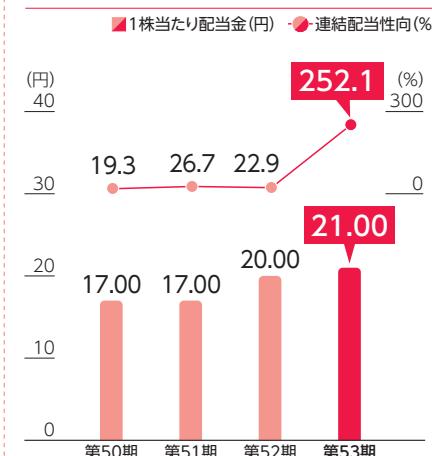
経常利益 / 経常利益率



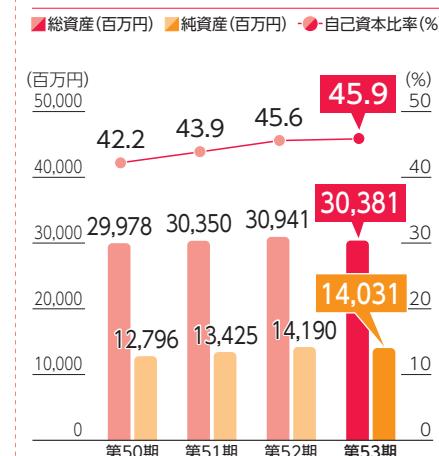
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり配当金 / 連結配当性向



総資産 / 純資産 / 自己資本比率



(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第52期の期首より適用しております。第51期の業績につきましては、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

連結財務諸表

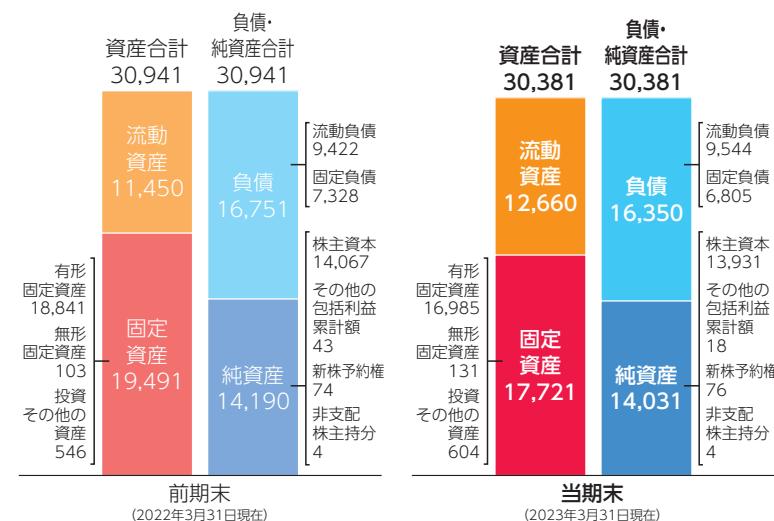
▶▶ Consolidated Financial Statements

会社データ

▶▶ Corporate Data

連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



[資産合計]

有形固定資産の減少を主因に前連結会計年度末と比較して5億5千9百万円減少し、303億8千1百万円となりました。

[負債合計]

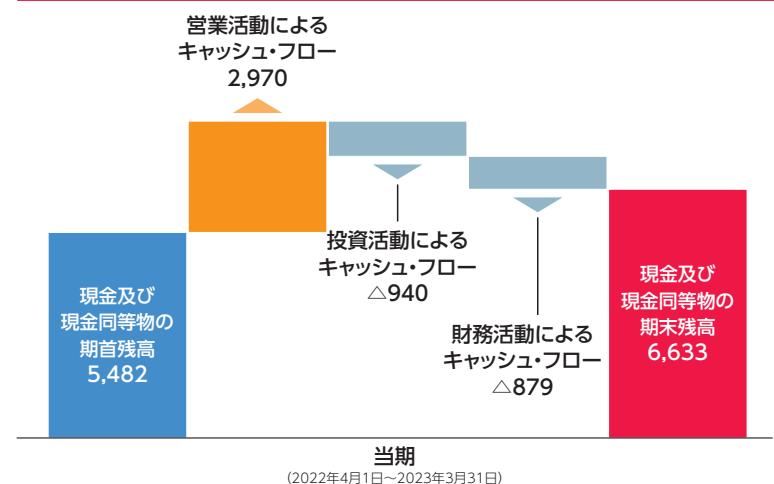
長期借入金の減少を主因に前連結会計年度末と比較して4億1百万円減少し、163億5千万円となりました。

[純資産合計]

親会社株主に帰属する当期純利益1億3百万円を計上する一方、配当金の支払額2億6千5百万円等により前連結会計年度末と比較して1億5千8百万円減少し、140億3千1百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



[営業活動によるキャッシュ・フロー]

税金等調整前当期純利益	470
減価償却費	1,542
その他の資産の増減額(△は増加)	△36
法人税等支払額	△502

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

有形固定資産の取得による支出	△952
----------------	------

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

配当金の支払額	△265
長期借入れによる収入	1,500
長期借入金の返済による支出	△2,111

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

(2023年3月31日現在)

社名	シノブフーズ株式会社 SHINOBU FOODS PRODUCTS CO.,LTD.
設立	1971年5月1日
資本金	4,693,422,000円
従業員数	528名
事業内容	米飯加工食品(弁当、おにぎり、寿司等)・調理パン(サンドイッチ等)・惣菜等の製造販売

役員

(2023年3月31日現在)

代表取締役社長	松本 崇志	執行役員	吉井 淳
代表取締役副社長	西村 寿清	執行役員	花谷 由紀
取締役	清水 秀輝	執行役員	杉山 直博
取締役	長尾 正史	執行役員	川部 昌文
取締役(社外)	加藤 道彦	執行役員	足立 裕明
取締役(社外)	中野 由里		
常勤監査役	大塚 一樹		
監査役(社外)	野村 祥子		
監査役(社外)	南方 得男		

株主メモ

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031(フリーダイヤル) (受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く))
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
(よくあるご質問(FAQ))	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

株式の状況

(2023年3月31日現在)

発行可能株式総数	45,656,000株
発行済株式総数	13,500,000株
単元株式数	100株
株主数	7,654名

ネットワーク

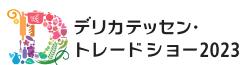
(2023年3月31日現在)

本社	大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号 TEL(06)6477-0113(代表)
工場	●千葉 千葉県八千代市上高野1734番1 ●名古屋 愛知県弥富市四郎兵衛1丁目128番地 ●大阪 大阪市西淀川区福町1丁目9番16号 ●関西 大阪市西淀川区御幣島6丁目14番36号 ●京滋 滋賀県栗東市六地藏1163 ●岡山 岡山県総社市中原字翼原88番の2 ●広島 広島県尾道市美ノ郷町本郷20001番地65 ●四国 香川県観音寺市柘田町字干拓793番7号 ●物流センター 大阪市西淀川区福町1丁目9番17号 ●東京事業所 東京都大田区蒲田5丁目42番6号 蒲田ハイツ201号 ●子会社 ●(株)エス・エフ・ディー 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号 ●(株)マイツペーカー 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、左記「電話照会先」までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、左記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

TOPICS | トピックス



へ出展

2023年2月15～17日の3日間、幕張メッセにて開催された『スーパーマーケット・トレードショー2023』へ出展いたしました。初の首都圏での展示会出展となり、新規・既存取引先様へ新たなご提案や商品力のアピールを行うことができました。今後も定期的に展示会に出展し、多くのお客様にシノブフーズの商品と方向性を知っていただけるよう取り組んでまいります。



シノブフーズのサステナビリティ

vol.3

私たちがまた世界市民の一員であるとの自覚のもとに、持続可能な地球環境と満足度の高い社会の実現をめざし、国連サミットで採択された国際目標「SDGs (Sustainable Development Goals-持続可能な開発目標)」の実現に取り組んでいます。



障がい者雇用の取り組み



シノブフーズでは、各都道府県、市町村、学校や支援施設等と積極的に連携し、職場見学や職場実習、就職相談の受け入れを幅広く行っています。その一環として2022年11月に、障がい者の方々に「良品をお客様に提供する」という企業の社会的責任の一端に触れていただくことを目的とし、支援学校にて出張授業を実施いたしました。

目標

全事業所毎の法定雇用率の達成
全社で雇用率5%の達成

2022年3月時点
障がい者雇用率

3.7% (法定雇用率:2.3%)



2023年3月時点
障がい者雇用率

3.9%

その他のサステナビリティへの取り組みは、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.shinobufoods.co.jp/sustainable/>



シノブフーズ株式会社

〒555-0011 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号
TEL (06) 6477-0113 (代表)
<https://www.shinobufoods.co.jp/>



この報告書は、環境に配慮し、植物油インキを使用しています。